

京都市放課後対策事業検討委員会

会 議 次 第

- 1 日時 平成19年12月21日(金)午前10時～
- 2 場所 京都市教育相談総合センター(こどもパトナ) 1階会議室
- 3 次第
 - (1)開会

 - (2)「放課後まなび教室」の実施状況について

 - (3)検証結果について

 - (4)協議

 - (5)閉会

【資料1】

放課後まなび教室 実施状況

行政区	校区	開設		実施曜日					実施予定日数			対象児童	登録児童					参加児童				
		月	日	回	月	火	水	木	金	年間	授業		長休	4年	5年	6年	計	率	4年	5年	6年	計
北	鳳徳	9	3	4						110	103	7	139	7	6	3	16	11.5	5	2	2	9
	紫竹	9	11	5						140	130	10	147	8	6	2	16	10.9	3	2	1	6
	鷹峯	9	28	3						74	69	5	124	7	4	18	29	23.4	2	1	3	6
	楽只	7	19	3						110	84	26	33	2	3	3	8	24.2	1	2	2	5
上京	西陣中央	7	2	5						156	144	12	258	13	7	10	30	11.6	7	3	4	14
	正親	7	17	5						167	136	31	75	8		2	10	13.3	2		2	4
中京	朱雀第八	7	17	5						149	116	33	221	19	5	5	29	13.1	5		2	7
下京	西大路	7	23	3						105	84	21	61	9	2	12	23	37.7	6	2	9	17
南	陶化	10	11	3						69	64	5	91	7		4	11	12.1	5		1	6
	山王	7	26	3						91	83	8	59	4	2	3	9	15.3	3	1	1	5
	吉祥院	7	20	5						162	133	29	241	21	8	7	36	14.9	6	1	3	10
	上鳥羽	9	19	3						70	65	5	180	2	8	2	12	6.7	1	3	1	5
	大藪	8	6	3						84	76	8	253	5	5	1	11	4.3	2	2		4
左京	八瀬	7	13	3						99	84	15	33	9	3	1	13	39.4	2	1	1	4
	大原	7	17	5						159	135	24	32	5	8	1	14	43.8	2	4	1	7
	第四錦林	7	17	5						168	138	30	145	12	16	6	34	23.4	4	7	2	13
	養正	9	10	3						82	64	18	100	4	2	11	17	17.0	2	1	2	5
	養徳	9	10	5						130	122	8	190	3	8	4	15	7.9	1	4	2	7
	下鴨	7	18	5						161	126	35	178	5	5	7	17	9.6	1	1	2	4
	修学院	7	23	5						166	132	34	345	24	6	2	32	9.3	6	2	1	9
東山	今熊野	7	13	3						99	84	15	114	4		5	9	7.9	2		1	3
山科	西野	9	3	3						85	82	3	131	3	2	11	16	12.2	2		8	10
	勸修	10	9	5						114	106	8	360	11			11	3.1	6			6
	百々	7	19	3						98	81	17	296	7	4	4	15	5.1	1	2	2	5
右京	嵯峨	8	1	5						157	133	24	290	8	32	1	41	14.1	4	1		5
	常磐野	9	11	5						133	128	5	360	5	3	6	14	3.9	2	2	2	6
	嵯峨野	9	10	3						80	76	4	370	19	8	5	32	8.6	7	2	1	10
	御室	8	27	5						141	133	8	204	17	6	2	25	12.3	6	4	1	11
	宇多野	9	7	5						132	125	7	235	11	2		13	5.5	5	1		6
	花園	7	18	3						99	81	18	149	9	8		17	11.4	4	5		9
	太秦	9	10	5						133	122	11	497	14	3	1	18	3.6	4	1	1	6
	南太秦	7	18	3						108	90	18	179	3	6	5	14	7.8	1	2	2	5
	安井	7	17	5						167	132	35	157	10	12	2	24	15.3	5	2	1	8
	西京極	7	17	5						168	137	31	350	5	17	4	26	7.4	2	3		5
西京極西	7	17	5						168	137	31	113	12	1	1	14	12.4	6		1	7	
西京	川岡	7	18	3						100	87	13	289	9	5	1	15	5.2	3	3		6
	竹の里	9	10	5						125	121	4	115	12	14		26	22.6	5	6		11
伏見	福西	7	19	5						151	128	23	186	6	14	7	27	14.5	2	4	2	8
	藤ノ森	7	17	5						168	142	26	336	10	2		12	3.6	3	1		4
	砂川	7	23	5						95	78	17	234	18	9	4	31	13.2	4	3	1	8
	竹田	7	18	3						105	75	30	174	5	1	5	11	6.3	3	1	2	6
	春日野	7	17	3						101	84	17	202	5	3	6	14	6.9	1	2	3	6
	醍醐西	7	26	3						80	75	5	192	22	3	1	26	13.5	10	1	1	12
	北醍醐	7	17	5						180	145	35	85	6	18	7	31	36.5	1	4	2	7
	伏見板橋	7	13	3						106	86	20	251	7	8	5	20	8.0	1	2	1	4
	下鳥羽	7	18	3						90	78	12	269	7	6	2	15	5.6	4	6	1	11
	納所	9	10	3						71	71		173	11		2	13	7.5	6		2	8
	向島藤の木	7	2	5						174	147	27	189	10	4	2	16	8.5	4	2		6
	向島南	9	7	5						140	130	10	214	8	3		11	5.1	3	2		5
	二の丸北	7	17	5						180	150	30	57	3	1	9	13	22.8	1	1	4	6
合計					42	39	43	37	45				9676	451	299	202	952	9.8	174	102	81	357

(注)「登録児童」は11月末日現在の数値、「参加児童」は11月の1日あたりの平均の数値

【資料2】

放課後まなび教室についての感想・意見等

<p>主な活動</p>	<p>宿題, 予習・復習, 読書, 各自の課題学習</p>
<p>特色ある活動</p>	<p>書道・工作・そろばん・学習パズル・漢字検定</p>
<p>感想・意見・要望等</p>	<p>児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで参加している(「明日は予定がないが参加してもよいか。」等) ・概ね静かに落ち着いた雰囲気の中で学習している ・夏休みの宿題がはかどって, いつもより早くできた ・他学年の子どもと交流ができてうれしい ・毎日の勉強のペースが速くなってきた ・スタッフが励ましてくれるので勉強がしやすい ・部屋の外に出たり, 遊んだりできればもっとよい
	<p>保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの姿勢がでてきたのでうれしい ・去年まで図書館に行っていたが学びの場ができてうれしい ・宿題を終えて帰ってくるので家庭での会話の時間が増えた ・育成学級児童も楽しく参加している ・他の人にも勧めたい。もっと周知すればよい ・低学年も参加できるようにしてほしい ・迎えが原則として必要なのがネックとなっている
	<p>実行委員 スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スタッフの運営により子どもに適度の緊張感がある ・子どもが地域で挨拶してくれるようになった ・初めは手探り状態だったが, 実施する中で運営のしかたがわかってきた ・定期的にスタッフのミーティングをするなどして共通理解を図っている ・他校の実施している様子を知りたい ・無断欠席する児童があり, その確認に手をとられる ・学習アドバイザーは子どもとの関わり方を知っている元教員が望ましい ・参加者が増えてきたのでやりがいが出てきた
	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力はなしでは実施できない事業である ・子どもたちの表情が明るくなり, 楽しく参加している ・学校の教育活動と別個と位置づける中で, 学校として実行委員会とどう連携し, どの程度関わるかが課題 ・より登録者が増えるよう, 担任への働きかけや児童への声かけをしていく
	<p>コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね静かに落ち着いた中で運営されている ・各校で地域の状況が異なる中で, 学校と実行委員会, 地域のスタッフとの連携, 関わり方など, それぞれ試行錯誤する中で実施されている ・地域での人材確保が困難なところもある

【資料3】 放課後子ども教室 指定都市の状況

	学区数	箇所数	率(%)
京都市	179	50	27.9
札幌市	209	126	60.3
仙台市	123	93	75.6
さいたま市	95	13	13.7
千葉市	120	120	100.0
横浜市	347	349	100.6
川崎市	114	173	151.8
新潟市	114	35	30.7
静岡市	85	0	0.0
浜松市	115	0	0.0
名古屋市	261	243	93.1
大阪市	297	297	100.0
堺市	94	9	9.6
神戸市	169	30	17.8
広島市	141	0	0.0
北九州市	132	256	193.9
福岡市	146	140	95.9
計	2,741	1,934	70.6

箇所数は、文部科学省に国庫補助
を申請している数値

【資料 4】

放課後まなび教室実施に係る児童館への影響の検証について

1 検証

- (1) 放課後まなび教室（以下、「まなび教室」）50校のうち、児童館が整備されていない20校区を除く30校区にある児童館について、以下の検証項目を設定し、影響を検証した。

学校児童数が多い学区における影響（5学区）

学校児童数が少ない学区における影響（4学区）

学校児童数が全市平均程度の学区における影響（5学区）

学校の近隣に児童館がある学区における影響（5学区）

学校敷地内に児童館がある学区における影響（2学区）

学童クラブ登録児童数が多い学区における影響（4学区）

小学校4～6年生の自由来館者数が多い学区における影響（5学区）

- (2) まなび教室実施後の児童館の小学校4～6年生の自由来館者数について、主に夏休み期間である7、8月分と、平常の授業が実施されている9、10月分に分けて集計し、1日平均の利用者数で比較した。

まなび教室実施日と未実施日の比較

ただし、週5日実施校は、未実施日が極端に少ない又は学校閉鎖日のみに限られ、比較には適切ではないため、除外している。

平成18年度と平成19年度の同期間の比較

2 分析

- (1) 実施日と未実施日の比較

7、8月分については、まなび教室を実施している比較対象10校区のうち、来館者数が減少している児童館が2館、増加している児童館が8館で、増加している児童館が6館多くなっている。また、比較対象10校区の平均では0.4人の増加となっている。

9、10月分については、まなび教室を実施している比較対象14校区のうち、来館者数が減少している児童館と増加している児童館がそれぞれ6館で同数であり、増減のない児童館が2館となっている。また、比較対象14校区の平均では0.2人の減少となっている。

- (2) 前年度との比較

7、8月分については、まなび教室を実施している比較対象20校区のうち、来館者数が減少している児童館が11館、増加している児童館が9館でほぼ同数となっている。また、比較対象20校区の平均では0.2人の減少となっている。

9、10月分については、まなび教室を実施している比較対象30校区のうち、来館者数が減少している児童館が17館、増加している児童館が13館で増加している児童館が4館多くなっている。また、比較対象30校区の平均では0.1人の減少となっている。

3 結論

- (1) 実施日と未実施日の比較においては、対象校全校が開設された9、10月分において増減の影響が同数であり、また、比較対象14校の平均が0.1人の減少であり、影響が出ているとは言い切れない。
- (2) 前年度との比較においては、減少している児童館が多い結果となっているが、平成18年度においても対平成17年度との比較では減少していることから、まなび教室の影響とは言い切れない。
- (3) 実施日と未実施日の比較においても、前年度との比較においても大きな影響は見られない。
- (4) なお、検証期間が4ヶ月と短いため、引き続き、影響の推移を見ていく必要がある。

【資料5】平成19年度小学校別自由来館影響検証データ集計（7，8月分）

表の「1日平均4～6年生利用者数」欄について

- A: 放課後まなび教室実施校児童の利用者数について、放課後まなび教室実施日の1日平均利用者数から未実施日の1日平均利用者数を差し引いたもの(当該校児童のみを集計)
 なお、週5日実施の学校については検証の対象から除外した。
- B: 放課後まなび教室実施校児童が利用する児童館の19年度の1日平均利用者数から18年度の1日平均利用者数を差し引いたもの(当該校児童以外の児童も含む)

検証条件	学校名	児童館自由来館者数		放課後まなび教室		
		1日平均4～6年生利用者数(人)		実施回数	登録児童数 (8月)	開設日
		実施-未実施(A)	- (B)			
学校児童数が多い	百々	0.4	-2.9	週3回	13	7.19
	勸修		-			10.9
	嵯峨野		-			9.10
	太秦		-			9.10
	川岡	1.1	0.8	週3回	10	7.18
学校児童数が少ない	鳳徳		-			9.3
	楽只	0.2	-0.4	週3回	8	7.19
	養正		-			9.10
	山王	0.5	0.2	週3回	7	7.26
学校児童数が全市平均程度	上鳥羽		-			9.19
	安井	-	-0.8	週5回	24	7.17
	竹田	1.2	2.3	週3回	8	7.18
	納所		-			9.10
	向島藤の木	-	-0.2	週5回	12	7.2
学校の近隣に児童館あり	第四錦林	-	-0.1	週5回	25	7.17
	大藪	0.3	0.4	週3回	9	8.6
	御室	-	-1.1	週5回	9	8.27
	福西	-	-0.1	週5回	13	7.19
	春日野	0.5	0.5	週3回	11	7.17
学校敷地内に児童館あり	紫竹		-			9.11
	常盤野		-			9.11
学童クラブ登録児童数が多い	養徳		-			9.10
	修学院	-	0.7	週5回	10	7.23
	醍醐西	-0.1	2.7	週3回	14	7.26
	下鳥羽	-0.3	0.2	週3回	8	7.18
4～6年自由来館者数多い	朱雀第八	-	-1.7	週5回	24	7.17
	今熊野	0.2	0.1	週3回	7	7.13
	吉祥院	-	-2.3	週5回	29	7.23
	西京極	-	-0.2	週5回	9	7.17
	砂川	-	-2.2	週5回	2	7.23

上記10校の平均	上記20校の平均
0.4	-0.2

平成19年度小学校別自由来館影響検証データ集計（9，10月分）

表の「1日平均4～6年生利用者数」欄について

A: 放課後まなび教室実施校児童の利用者数について、放課後まなび教室実施日の1日平均利用者数から未実施日の1日平均利用者数を差し引いたもの(当該校児童のみを集計)
 なお、週5日実施の学校については検証の対象から除外した。

B: 放課後まなび教室実施校児童が利用する児童館の19年度の1日平均利用者数から18年度の1日平均利用者数を差し引いたもの(当該校児童以外の児童も含む)

検証条件	学校名	児童館		放課後まなび教室		
		1日平均4～6年生利用者数(人)		実施回数	登録児童数 (10月)	開設日
		実施-未実施(A)	- (B)			
学校児童数が多い	百々	0.8	-0.5	週3回	13	7.19
	勸修	-	-0.2	週5回	10	10.9
	嵯峨野	-1.1	-0.6	週3回	32	9.10
	太秦	-	-0.4	週5回	18	9.10
	川岡	-5.3	3.9	週3回	14	7.18
学校児童数が少ない	鳳徳	-0.7	-0.1	週4回	15	9.3
	楽只	0.0	-0.9	週3回	8	7.19
	養正	0.5	0.1	週3回	17	9.10
	山王	1.1	0.3	週3回	9	7.26
学校児童数が全市平均程度	上鳥羽	0.2	0.5	週3回	12	9.19
	安井	-	-1.0	週5回	24	7.17
	竹田	2.8	0.7	週3回	11	7.18
	納所	0.0	0.0	週3回	8	9.10
	向島藤の木	-	-1.2	週5回	12	7.2
学校の近隣に児童館あり	第四錦林	-	0.4	週5回	34	7.17
	大藪	-0.2	-0.2	週3回	11	8.6
	御室	-	0.3	週5回	23	8.27
	福西	-	-0.4	週5回	21	7.19
	春日野	-	0.4	週3回	14	7.17
学校敷地内に児童館あり	紫竹	-	0.2	週5回	12	9.11
	常磐野	-	-1.3	週5回	14	9.11
学童クラブ登録児童数が多い	養徳	-	-0.8	週5回	15	9.10
	修学院	-	0.9	週5回	11	7.23
	醍醐西	0.7	1.6	週3回	22	7.26
	下鳥羽	-0.7	-0.8	週3回	11	7.18
4～6年自由来館者数多い	朱雀第八	-	-0.8	週5回	29	7.17
	今熊野	-1.2	0.5	週3回	9	7.13
	吉祥院	-	-1.0	週5回	31	7.23
	西京極	-	-0.3	週5回	25	7.17
	砂川	-	-2.4	週5回	18	7.23

上記14校の平均	上記30校の平均
-0.2	-0.1

【資料6】

児童館から聴取した放課後まなび教室実施に係る児童館への影響

1 放課後まなび教室（以下、「まなび教室」）利用児童の様子

- (1) まなび教室があるにもかかわらず、児童館へ来た子がいた。(8月)
- (2) まなび教室と自由来館を併用する子もいたが、一度児童館に来た子はまなび教室に行くのを面倒くさがっていた。(8月)
- (3) おばけやしきの準備が始まってからは、まなび教室を休んで児童館に来る子が増えた。(8月)
- (4) まなび教室実施時間の前後に児童館を利用する子もいた。(8月)
- (5) 学童クラブのOBが多く、学童クラブの延長として捉えている方が多いと聞いている。(9月)
- (6) 登録17人のうち、半数近くが学童クラブのOBだった。(11月)

2 自由来館への影響

- (1) 児童館におけるクラブ活動（太鼓，料理）に登録している児童は引き続き参加してくれている。(7月)
- (2) 毎日来ていた6年生が来なくなった。(7月)
当該児童がまなび教室に登録しているかどうかは不明
- (3) 高学年を対象に実施している卓球クラブがあるが、影響はない。(9月)
- (4) 夏休み毎日のように児童館に来ていた高学年の女子が、学校が始まるとピタリと来なくなったが、まなび教室に登録しているかどうかは不明。(10月)
- (5) まなび教室実施日でも多く来館する日があった一方で、まなび教室実施校からの来館者数が減少したように思われる。(11月)

3 学童クラブへの影響

- (1) 夏休みに読み聞かせのボランティアをしてくれていた人が放課後まなび教室の指導員になったため、児童館での活動ができなくなった。(7月)